

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は、言葉による見方・考え方を働かせ、国語に関する資質・能力を高め、小学校の教員としての実践力を身に付けることを目指している。そのため、体験とリフレクションを繰り返し、国語科教育の要点を実感できるようにする。体験とは国語科の授業記録を再現し演じてみることやゲストティーチャーのワークショップを受けることである。リフレクションとは、体験から得られた気づきを言語化することである。体験活動を通して、国語科の内容である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」に関連づけ、即戦力の育成を図る。

2. 授業の到達目標

- ・国語科教育における見方・考え方、資質・能力について基本的事項を修得する。
- ・体験とリフレクションを通して、国語科教育の要点を理解し実践力を身に付けることができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・平常点90%、学習内で行う学習活動への参加、指定課題の提出、ポートフォリオの作成など。本授業は全回出席することが基本である。

4. 教科書・参考文献

教科書

藤森裕治 学力観を問い直す国語科の資質・能力と見方・考え方 明治図書
渡辺貴裕 小学校の模擬授業とリフレクションで学ぶ授業づくりの考え方 くろしお出版

5. 準備学習の内容

- ・教材を読み、教材分析をまとめておく。(予習)
- ・リフレクションでの気づきまとめ、ポートフォリオに整理する。(復習)

6. その他履修上の注意事項

- ・主体的に参加し、提出物の締切は厳守すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 国語科における資質・能力とは何かについて学ぶ
- 【第2回】 国語科における「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力」とは何かについて学ぶ
- 【第3回】 国語学力を育てるために必要な要素とは何かについて学ぶ
- 【第4回】 言葉による見方・考え方とは何かについて学ぶ
- 【第5回】 リフレクションの方法とその意義について学ぶ
- 【第6回】 リフレクション①低学年「読むこと」の実践から学ぶ
- 【第7回】 リフレクション②中学年「知識及び技能」の実践から学ぶ
- 【第8回】 リフレクション③高学年「書くこと」の実践から学ぶ
- 【第9回】 リフレクション④低学年「言葉遊び」の実践から学ぶ
- 【第10回】 リフレクション⑤中学年「読むこと」の実践から学ぶ
- 【第11回】 リフレクション⑥高学年「話すこと・聞くこと」の実践から学ぶ
- 【第12回】 実践研究①教師の話し言葉：説明・発問・指示
※ゲストティーチャーによるワークショップ
- 【第13回】 実践研究②教師の表現力：読み聞かせ・音読
※ゲストティーチャーによるワークショップ
- 【第14回】 国語科における資質・能力を問い直し、再考する
- 【第15回】 これからの国語科教育に求められることについて学ぶ
※オンライン(LMS)